

## 2 仙台北部道路の整備効果

# 救急医療を支援する 仙台北部道路

- 仙台・塩釜地域の三次救急医療施設は、**仙台中心部に立地**しています。
- 仙台北部道路は、救急車両が重篤な患者を**より早く安定して搬送**することにより、**迅速な救急医療活動を支援**しています。



## 救急医療活動を支援

### ■ 仙台中心部三次救急医療施設の30分カバー圏域・人口



出典：ETC2.0プローブデータ（2022年1月～10月、12月 平日昼間12時間）、2020年国勢調査

### 沿線地域消防本部の声

仙台北部道路を利用することで、仙台中心部の三次医療施設に**迅速・安全に救急搬送**ことができ、**搬送時間の短縮**につながる。また、**医師に早く患者を引き継ぐ**ことができ、**早期治療**が見込める。

出典：2023年企業ヒアリング調査



## 2 仙台北部道路の整備効果

# 環境負荷低減を支援する 仙台北部道路

- 仙台北部道路を含む仙台都市圏高速環状ネットワーク（ぐるっ都・仙台）は、**仙台駅周辺地域などの都市部を囲む自動車専用道路**です。
- 仙台北部道路は、**一般道の走行性向上等**により仙台都市圏内の**大気汚染物質の排出量が削減**され、**仙台都市圏全体の環境負荷低減を支援**しています。

算出条件：仙台都市圏のセンサス対象道路（県道以上、境界の高規格道路は含まない）を走行する車両の各排出量を整備前後で比較

※1：開通前後の交通量と旅行速度は、1999年と2021年の全国道路・街路交通情勢調査の24時間交通量と混雑時旅行速度を使用。

※2：CO<sub>2</sub>・NO<sub>x</sub>・SPM排出量の原単位は『国土技術政策総合研究所資料第671号 道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（2010年度版）』より引用。

※3：林野庁HPより引用算出。（36～40年生のスギ人工林1haが1年間に吸収する二酸化炭素の量は約8.8トンと推定される。）

※4：NO<sub>x</sub>排出削減量を、大型車1台が40km/hで平均走行距離を走行した場合に排出するNO<sub>x</sub>量に換算。

※5：平均走行距離（営業用貨物車）：約45km/台（2021年全国道路・街路交通情勢調査）

※6：SPM削減量を500mlペットボトル1本分のSPM量（約100g-SPM/本）に換算

出典：全国道路・街路交通情勢調査（1999年、2021年）、客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法（案）（国土交通省）、国土技術政策総合研究所資料第671号「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（2010年度版）」

### ▼CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、SPM排出量計測エリア

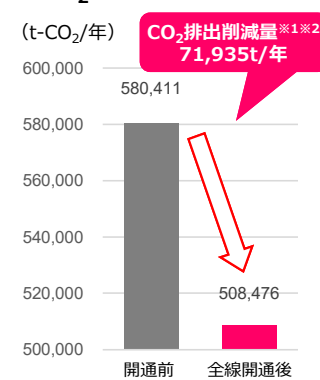


※計測対象路線：仙台都市圏のセンサス対象道路（県道以上、境界の高規格道路は含まない）

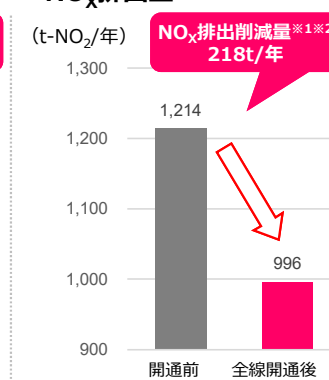
※センサス区間別混雑時旅行速度、交通量を用いて算出

## 仙台北部道路の整備により環境負荷が低減

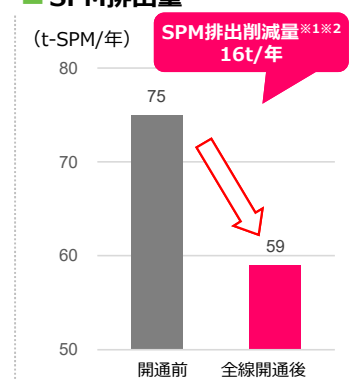
### ■ CO<sub>2</sub>排出量



### ■ NO<sub>x</sub>排出量



### ■ SPM排出量



8,174ha<sup>※3</sup>の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>に匹敵



東京ディズニーリゾート（テーマパークエリア）

約82個分の広さに相当

大型車に換算すると約200万台に相当



500mlペットボトルに換算すると約16万本に相当

